



『友情も平和もプフレーゲン(手入れ)しよう』

横浜日独協会会長 早瀬 勇

横浜日独協会は3年前に、シュタンツェル駐日ドイツ大使と林横浜市長のお声がけで、多くの関係者のご協力で誕生しました。大使が十月末の退官を前に、9月15日横浜で講演下さいましたことは、当協会にとってこの上ない幸せであり感慨深いものがございました。

日独両国は152年前に修好通商条約を結びました。それ以来、世界でも珍しい親密な二国間関係を維持出来たのは、政治、外交、経済、学術、文化の各分野で関係者の努力があったからです。個人の友情も国同士の関係も日頃官民両方で大事に手入れ（pflegen = プフレーゲン）しなければ維持し発展させることはできません。

横浜市は二年前にフランクフルト市とパートナー都市協定を結び、①経済交流、とくに中小企業の活性化、②スマートシティ創造の知見の交換、③文化・芸術交流を協力して推進することを約束しました。この協力が実現すれば私たちが住む横浜は必ず良くなります。

横浜日独協会も、昨年フランクフルト日独協会との間で協力協定を結び、両都市の提携を民間側からお手伝いすることになりました。すでに横浜市のご指導を頂き中小企業同士の技術交流を模索しておりますし、文化面では高校生を相互に派遣するプロジェクトが始まっています。当日も横浜市内の高校生を式典に招き、大使の素晴らしい日本語の講演を聴いてもらいました。その感想文を審査して生徒さん2名を来年ドイツに招待します。若い時期に海外から日本を見て、祖国日本のあるべき姿を自分なりに描いてみるのが大切です。

コンサートでは、会員の島村武男さんがドイツ・イタリア仕込のバリトンを披露して下さい、男性・女性各合唱団が花を添えて下さいました。大使ご夫妻の退場を男性合唱団が「アウフ・ヴィーダーゼーエン」で送ったシーンは感動的でした。

お忙しい中ご出席くださいました鈴木 隆副市長、安藤綾信お家元、法人会員の代表者の皆様、会員・市民の皆様に厚く御礼申し上げます。

コンサートの後、拙宅での小宴でご講演へのお礼、大使の叙勲とお嬢様の博士号取得を祝って乾杯しました。横浜日独協会全会員に対する大使よりの礼文をここに掲げます。

*早瀬会長は、9月18日(木)テレビ神奈川(3チャンネル)昼番組「ありがとっ!」に7分間生出演され、設立3周年事業の報告や中小企業交流等協会活動を様々な写真を使ってPRされました。



講演後シュタンツェル大使ご夫妻に記念品を渡す早瀬会長夫妻

シュタンツェル大使から会長宛の感謝メール

From: Stanzel, Volker, Tuesday, September 17, 2013

Lieber Herr Hayase,

meine Frau und ich möchten Ihnen, Ihrer Familie und allen Mitgliedern der JDG Yokohama nochmals für den wunderschönen Nachmittag bei Ihnen danken. Wir haben uns so wohl bei Ihnen gefühlt - sowohl bei der Veranstaltung wie auch bei Ihnen zuhause.

Deshalb freuen wir uns auf ein Wiedersehen: in Yokohama, oder in Deutschland!

Sehr, sehr herzlich,
Ihre
Volker und Meifang Stanzel

PS: Die Fotos sind auch sehr gut gelungen - vielen Dank!

Dr. Volker Stanzel
Botschafter der Bundesrepublik Deutschland in Japan
Ambassador of the Federal Republic of Germany

親愛なる早瀬さん

とても素晴らしい午後を過ごさせていただき、妻と私は貴方やご家族や横浜日独協会の全会員にお礼を申し上げます。

私たちは、式典の催しでもお宅でも、本当に快い気分を味わいました。横浜かドイツでの再会を楽しみにしております。

真心をこめて
フォルカー & メイファン・シュタンツェル

追伸：写真もうまく撮れていますね。ありがとう！

駐日ドイツ連邦共和国大使
フォルカー・シュタンツェル博士

(早瀬抄訳)

Grusswort

(日付 Tokio, 22.August 2013)



Mit grosser Freude gratuliere ich der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Yokohama zu ihrem dreijährigen Bestehen.

Man mag sagen, drei Jahre seien keine lange Zeit, doch in diesem Zeitraum wurde enorm viel bewegt. Es ist beeindruckend, wie es der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Yokohama in so kurzer Zeit gelungen ist, die gegenseitige Verbundenheit und den tief verzweigten Austausch unserer beiden Länder in Kultur und Wirtschaft durch zahlreiche Veranstaltungen, Vorträge und Konzerte zu vertiefen.

Besondere Anerkennung verdient auch das erfolgreiche Schüleraustausch-Programm, das in Zusammenarbeit mit der Deutsch-Japanischen Gesellschaft in meiner Heimatstadt Frankfurt ins Leben gerufen wurde.

Ich möchte allen Mitgliedern für ihr Engagement für die gemeinsamen Beziehungen herzlich danken. Gesellschaften wie die Ihre sind es, die mit ihrer kontinuierlichen Arbeit einen wichtigen Beitrag zur Förderung des gegenseitigen Austauschs leisten und für die Lebendigkeit der freundschaftlichen Beziehung sorgen.

Ich wünsche der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Yokohama für die Zukunft alles Gute.
Dr. Volker Stanzel

[訳文]

— ご挨拶 —

ドイツ連邦共和国大使 フォルカー・シュタンツェル

このたび設立 3 周年を迎えられた横浜日独協会に心よりご祝辞を申し上げます。

3 年という年月は長くないとは言え、その間に非常に多くの進展がありました。このような短期間に横浜日独協会が双方の絆と、数多くの行事、講演会、コンサートを通じて文化、経済面における両国間のきめ細かな交流を深めその成果を収められたことに感銘を覚えます。とりわけ、私の故郷にあるフランクフルト独日協会と共同で立ち上げられた、実り多い高校生派遣プログラムも賞賛に値します。両国関係のために尽力された協会会員各位に心より御礼申し上げます。貴協会のような諸協会が、継続的な活動を通して相互交流の促進に大切な役割を果たし、友好関係の活性化に貢献するもので

あります。横浜日独協会の今後の益々のご発展を祈念いたします。
(ドイツ大使館訳)

全国独日協会連合会 フォンドラン会長からの祝辞

貴協会が 9 月 15 日の記念日を祝うべく、諸準備をされておられる事をお聞きし大変慶んでおります。独日協会の仲間共々式典のご成功を心よりお祈り申し上げます。2011 年 4 月初め日独両協会の交流訪問で来日した際に横浜市を訪れ、大変なおもてなしを戴いたことをよく覚えております。

この訪問は、「不確実な時にこそ確かな友を認識できる」を合言葉に確信を持って実行したものです。林文子市長様より手ずから妻と私に横浜のモチーフ付き時計をお贈り戴きましたが、妻は毎日それを身につけるのが誇りで、我々の友人にそのしるしとシンボルを話しております。

シュタンツェル大使が当日講演をされるとお聞きし喜んでおります。大使も外交官としての実績から、ドイツにおいても高く評価されお喜びのことと存じます。大使は任国日本の理解に努力されて来られましたが、同時に日本のために多くのことを成し遂げられました。

来年末に開催される独日協会の 50 周年記念式典に日本からの大勢のお客様と共に、大使を来賓としてお招きすることは私の格別な願いでもありました。もし機会があれば、早瀬会長から大使へどうぞ宜しくお伝えくださいませ。

私自身は、もうまもなくですが 10 月の初めに日本訪問を計画しております。日独産業協会が困難な財政政策問題をテーマとした大きな行事を開催致します。

もしも日本で早瀬会長と再びお目にかかることが出来れば大変嬉しく存じます。 敬具

デュッセルドルフ 2013 年 8 月 15 日

全国独日協会連合会会長

Dr.ルプレヒト フォンドラン (能登抄訳)



ドイツ大使を囲む作文コンテスト参加の横浜の高校生たち



満席の戸塚フォーラム：前列手前が安藤綾信様（3 頁右欄参照）と令嬢

運営委員 坂井 啓治

早瀬会長からご来賓の紹介があり、横浜日独協会名誉顧問 林 文子市長の代理として鈴木 隆副市長のご挨拶があった。ご祝辞の要旨は以下の通り：



1. 横浜市は開港以来古くからドイツとの関係が非常に深く、横浜市には、1885年ドイツのウインクレル商会の開業、1904年ドイツ学園開校などあり、ドイツとの交流促進に取り組んできた。

また平成4年ドイツ・ハンブルグ市と姉妹港締結、同23年横ドイツ・フランクフルト市をパートナー提携など都市間の交流を積極的に始めた。平成24年リヨン（仏）・フランクフルト・横浜の3市で環境問題に取り組むことにした。

フランクフルト市にはゲーテの生家や Städel 美術館など、金融・交通の要所はもとより、文化的にも恵まれた環境にある都市である

2. 横浜日独協会は、ドイツに関するセミナーやフランクフルトからの高校生ホームステイ受け入れなど、ドイツと日本との結びつきと交流を支え、相互理解を深める交流を力強く発展させておられることに敬意を表している。

設立3周年記念行事では、講演会・コンサートのほか作文コンテストをスタートさせるなど、横浜の若い世代を応援し、今後の日独交流に新しい息吹を与えるものと思う

今日の大使の講演を自分自身大変楽しみにしている。大使は平成21年ご就任以来、横浜を舞台とする日独交流に力強く応援して頂き、フランクフルト市と横浜市のパートナー提携を支援して頂いた。日独交流150周年記念講演会では、多くの市民が世代を超え大使の温かいお人柄に触れ、示唆に富んだお話に深く感銘した。

本年末、大使は退任されるとのことだが、在任4年間の日独交流の歴史は大使のお力添えなくしては出来なかったと思う。市民を代表して感謝いたします。

3. 横浜市は、横浜日独協会と大使のご尽力で育まれた両国市民の友情の絆を一層強固なものにしたいと思っている。

私ども横浜日独協会も今日設立3周年記念を迎えることが出来たのも、シュタンツェル大使のご尽力と横浜市のご支援の賜物であり、鈴木副市長のご祝辞にあった評価と期待を胸に秘め、引き続き文化交流に加え、地域企業に対する技術経済分野での日独交流支援活動を促進したいと考えており、横浜市及び関係団体の一層のご支援とご協力をお願いするものです。

日・プロイセン（現ドイツ）修好通商条約は1860年プロイセンから来日した全権公使



Friedrich Albrecht zu Eulenburg 伯爵と、江戸幕府筆頭老中安藤信正公（磐城平藩主）が4ヶ月にわたる交渉の結果、翌1861年1月24日条約は調印された。

今回その十六代当主安藤綾信様とそのご令嬢を当協会の設立3周年記念式典にご招待した

現在、御家流茶道十六世宗家及び安藤家御家流香道十一世家元として親善交流され、ベルリンの日本大使館で香道と茶流をドイツの皆様にご披露、また平成23年には東京の護国寺で駐日ドイツ大使シュタンツェルご夫妻をお迎えし、プロイセン（現ドイツ）連邦全権大使オイレンブルグ伯爵に献茶の式が執り行われた。

以上詳細は、記念行事の会場でお渡しした「いわき市立美術館・安藤信正展」パンフレットをご参照下さい。

三周年記念から
五周年記念へ

運営委員 中島 敏



設立3周年記念の集いは素晴らしかった。記念講演会も記念演奏会も十分に楽しみました。生まれて三歳の御誕生日会をかくも嬉しい時間と空間の中で満喫できたのは、企画・準備・運営等に心血を注がれた会長・副会長・理事・運営委員・会員のご努力の御蔭で、御世話戴いた会員側より心から感謝いたします。

ドイツ連邦共和国大使フォルカー・シュタンツェル博士の「日本の友へ贈る言葉」と題するお話は日本語でお聴きすることが出来て有難かった。

「1. 関東地方の夏は大変蒸し暑い。すごい湿気の中で自然を楽しむことが大変重要。夕立の雨音、蟬の声、緑の下で冷たいお酒を嗜む。2. 公邸のビアケラーに、日本の国会議員をお招きして色々話をする。評価の分かれる職業だ。選挙戦が始まれば駅前に立って有権者と握手を繰り返す議員。地方出の議員は地元に行って動き回る。議員には、コミュニケーション力、体力、解決力などが必要。地元の代表というより国民全体の代表者であるはず、実際の議員の動きは意外な感じ。3. この猛暑のときでも、柔道場や合気道場に行ってみると冷房がなかったりする。練習はハイペース。呼吸をはずませて、たくさん汗をかく。こうして力を使い果たすことは本当に素晴らしい。4. 江戸時代からの醤油醸造工場と最新鋭の液晶製造工場の同時的存在・活動。5. 鉄道ファン、蒸気機関車、在来線で空間移動、駅弁、正確な時刻表、自由時間の贅沢。6. 露天風呂、落

ち葉、岩山に沿って茅葺の家、木の枕に寝る、湯煙、夜の冷気、自然の中にいる実感。7. 希望の花、桜花はあまりに美しく、次の瞬間には散ってろう、束の間の美しさを愛でる人々、東日本大地震、苦しい中でも桜の花は咲く、我々は自然の一部なのだ。」
 こういう御話を聞くと、ああそうなんだ、普段当り前の事として大して深く感じる事も無い日本の文化や自然を改めて思い直す切っ掛けを頂けたと思いました。

第二部コンサートでは参加者の殆どが島村先生のバリトン独唱、迫力のある劇的な表現にやや驚いて感嘆しました。フラウエンコアもメナコアも変化に富んだ合唱作品を採り上げていて普段の練習の成果が十分に表れていました。

さて、三周年記念は盛況の裡に終わった、よかったよかった、で御仕舞では残念です。七五三のお祝いに肖る訳では無いけれど、次は五周年記念の行事を構想・企画・準備・実施していくことは如何でしょうか？ 会員相互、又他の独日協会・日独協会会員との交流を活発にして主として文化関係に重心を置いて私達会員自らが動いて日独文化的果実を食べられるようにしたいなあ、と願っております。



フラウエンコア・アム・ライン



バリトン 島村武男氏



デュッセルドルフ・メナーコア

「高校生作文コンテスト」

参加28人が大使講演を熱心に聴く

横浜日独協会が3周年記念事業の一つとして行う「ドイツ派遣 高校生作文コンテスト」は9月15日シュタンツェル駐日ドイツ大使をお迎えしての講演会でスタートしました。

この日は市内でドイツ語を履修する次の4高校から28人が出席。熱心にノートをとる姿や講演後の質問などにも、若々しい熱意が感じられました。

- ◆神奈川県立横浜国際高校 12人
- ◆同 保土ヶ谷高校 3人
- ◆横浜市立みなと総合高校 10人
- ◆慶應義塾高校 3人

1時間にわたった大使の講演は日本文化への造詣の深さや、美しい日本の風土や人情に対する愛着を感じさせ、将来を担う若い世代への熱い期待がこめられていました。そこから高校生たちが何を感じ、何を発想するか。

寄稿されてくる作品が楽しみです。

原稿は1000字、締切は10月15日。近く横浜日独協会が委嘱する関係団体の有識者をまじえた選考委員会が優秀作2点の選考に入ります。

今後の日程は次の通りです。

- ◆10月16日～31日 第1次作文審査 (JDGY・内部選考)
- ◆11月1日～15日 第2次作文審査 (横浜市国際政策室、ANA、一般有識者を含む)
- ◆11月下旬 優秀者2名決定を4校に通知。
- ◆12月上旬 同2名と早瀬会長らが林横浜市長表敬訪問・新聞発表。
- ◆12月上旬以降 フランクフルト独日協会と訪独日程を調整。
- ◆3月下旬または7、8月に高校生をフランクフルトへ派遣。(作文コンテスト委員長 磯貝理事)

モトスミ・ブレーメン通り商店街

＜第1回 なんでブレーメンなの？＞

【広告】



東急東横線元住吉駅西口の長いエスカレーターを下ると、そこにはあのグリム童話でおなじみの「ブレーメンの音楽隊」の4匹の動物が出迎えてくれます。

ブレーメン通り商店街 なんとメルヘンチックなネーミング ではないでしょうかこのブレーメンのネーミングから全てが始まったと言っても過言ではありません。今から25年前(1998年)商店街のモール化事業が完成。そのときの街づくりのコンセプトがなんと「中世ヨーロッパのロマンと語らい」と大それたものでした。

完成したときに商店街の名称はなんとしたのか色々一般公募もしたのですが適当な名称が見つからず、ある大学の先生にお願いしたところグリムとアンデルセンとブレーメンの3つの候補を出してくださいました。商店街の役員会の中で協議した結果日本では一番子供たちに親しまれている童話の「ブレーメンの音楽隊」のブレーメンにすることに決まりました。

しかしネーミングが決定した、その時点ではドイツにブレーメンという街があるとは知りませんでした。そこで勝手に名称を使っていいものだろうかと思案の結果、1990年ブレーメン経済振興公社のシュメデケ総裁が来日した折名称の無断使用を謝罪し、翌年ブレーメン市を訪問し正式に名称の使用許可を頂きました。

会員 越田和男



横浜日独協会の月例会が、横浜カントリー・アンド・アスレティック・クラブで催されるのは、これで3度目か。今回は納涼ビア・アーベントと銘打って7月27日(土) 午後4時半から、遠方からの来客も含め、老若男女50余名が参集した。

横浜山手の高台に位置するこの施設の2階レストラン横のバルコニーから、すぐ眼下に美しく刈り揃えられた芝生のコートでローン・ボーリングに興ずる人たち、そのとなりのプールで遊ぶ家族連れ、さらに前方の緑の球技場と、その向こうの海岸線への広がり、などを眺めて非日常の気分切り替え完了となったところで、室内に移動して能登常務理事の司会で開宴となった。

今回も本会理事のロベルト・ゼーリッヒ夫妻のご尽力があったことは言うまでもない。冒頭、ゼーリッヒさんから、今夕供される2種のドイツ・ビール、ピルスナーとヴァイツェン、と本施設の概略の紹介があった。ここの球技場が日本のラグビーの発祥の地(1901年対慶応戦)であったことなども。

特記すべきは、参加者の顔ぶれ。今回は神奈川大学の現役の学生さんが、海外からの男女留学生を誘って来てくれ、ぐっと平均年齢を下げた。会員およびその家族の参加者も女性が多かったことも相まって、早瀬会長の「日独協会始まって以来の楽しい集い」とのご発言となった。

ジャガイモ、ソーセージを中心とするドイツ料理、そしてドイツパンは何と言ってもビールとの相性が良い。中サイズのジョッキで2杯目～3杯目とすすむ頃、女性参加者の自己紹介へとすすむと、座が一挙に和やかになり、やがてころあいに歌唱集が配られた。

今回 Ein Prosit, Ein Prosit! は出なかったが、「赤とんぼ」「浜辺の歌」、日独両語での「ローレライ」などを全員で放唱した。「ローレライ」の歌を知る世代と知らない世代との世代間ギャップを感じながらも、神奈川大学の校歌に続き、留学生からも歌が飛び出し、歌合戦さながらとなった。中国は上海からの女子学生の「中国賛歌」には黒崎副会長が唱和された。デンマークからの女子学生は、1970年代のアメリカのカントリーのヒット曲「クレイジー」をアカペラで熱唱した。

このあたりで、当夜の Gemütlich な雰囲気はお伝えできたと思うが、付記すべきは、ゲスト参加の千葉日独協会の北村理事から、終戦後間もないころに、日本の炭坑技術の伝授のため、数百人もの日本人がルール炭田地帯に数年も派遣された経緯を、これに参加されたご自身の経験談としてうかがったことだった。

エッセン通信



昨年12月のクリスマス・パーティーをヴァイオリン演奏で盛り上げて下さった、武田章寛氏がベルリンよりエッセンに活動拠点を移し研鑽を積んでおられます。彼からの学生生活と演奏家としての活動状況が「エッセン通信」として届けられました。会報への掲載致しますのでお楽しみ下さい。紙面の都合があり内容は編集させて頂いておりますことをご了承ください。

エッセン通信 1

大学での授業はドイツ語、師事しているガリッキー先生はドイツ語を話されないで英語です。2つの言語を使い分けるのは実はとても大変です。授業の内容は現代音楽。もはや先生が喋っているのが現代音楽に聞こえてしまう・・・そしてガリッキー先生は冗談がとても大好きな方なので、気の利いたジョークを常に僕に求めて来るのです！いつも頭がフル回転という状態ですが、これから多くの人達と話が出来ようになりたいという気持ちが強く、先日よりフランス語の勉強を始めました！(笑) 全部中途半端になりませんように・・・ 5月23日

エッセン通信 2

明日は30分の演奏の実技試験、明後日は現代音楽の試験なのですが、実技はともかく、問題はもちろん現代音楽の方にあります・・・この試験は口頭試験で任意の現代曲について2人の教官相手に10分間発表をしなければなりません。勿論ドイツ語です・・・はじめは「同一低音上の移高転回和音」や「第7-12倍音例を用いた半音階を含む和音連結」などをドイツ語で何と言うのか・・・、大変でしたが、何とか原稿が出来上がりドイツ人の友人に通じるかどうかチェックしてもらい、これから音読(!)の練習です。上手く行くことを願って・・・。

6月30日

武田章寛氏の日本における今後の演奏予定

10月19日(土) 山野敬子絵画展&武田章寛
ヴァイオリンコンサート

恵比寿 厚生中央病院 1Fロビー

— <http://kohseichuo.jp/about-2/access>

10月26日(土) 15:00開演

フレッシュ名曲コンサートに出演

宮本文昭 with 東京シティフィルと共演 ギャラクシティ西新井文化ホール文化ホール

http://www.galaxcity.jp/modules/site/index.php?action=CatView&cat_id=2

<東京横浜独逸学園オクトーバーフェスト>

- ・日時；10月12日(土) 12時～18時
- ・場所；独逸学園(市営地下鉄「仲町台駅」徒歩8分)
- ・内容；ドイツ、各国の食事、手作りケーキとコーヒー
催し物、ゲームやくじ引きなど
- ・その他；雨天決行(荒天の場合は日曜日に延期)

お知らせ 大島富士子リーダーイベント



シューベルト歌曲の夕べ

ピアノ ダルトン・ボールドウィン

曲目： 春に、 繁み、 ミニヨン全4曲、
冬の旅、 若き尼 他

2013年11月20日(水)

19:00開演(18:30開場)

横浜みなとみらいホール 小ホール

入場料 3,500円(全席自由)

お問い合わせ 090-6494-4986(大島)

foshima@gmail.com www.fujikooshima.net

{大島富士子氏は横浜日独協会会員です。なお今回の演奏会を横浜日独協会は後援しております。}

zwischen zwei Kulturen Wurst, Käse und Brot

会員 大島レオナルド

現在9月から3ヶ月間ドイツに滞在しております。色々ヨーロッパの懐かしい事がありますが、その中で一番なのが食物。詳しく言うと肉・パン・チーズです。朝ごはんは大体全麦パンにハムとチーズ、会社の食堂ではステーキ・ソーセージ等が多いです。和食より重く、体重が一気に増えたので夕食はサラダに置き換えています。

Ich halte mich derzeit für 3 Monate in Deutschland auf. Es gibt vieles, was ich an Europa vermisst habe, jedoch an erster Stelle steht Essen. Um genauer zu sein, Fleisch, Brot und Käse. Mein Frühstück ist generell Vollkornbrot mit Wurst und Käse, und in der Firmenkantine werden öfters Steak und Würstchen serviert. Da diese Diät viel deftiger als die japanische ist, habe ich leider doch ein paar Kilo zugenommen. Mein Abendessen besteht derzeit daher nur noch aus Salat.

新入会員紹介 2013. 8. 1以降

比田勝一彦(ひたかつ かずひこ)様

末松 茂明(すえまつ しげあき)様

末松 正子(すえまつ まさこ)様

行事予定

■10月例会:

- ・日時: 10月19日(土) 午後3:00~5:30
- ・会場: ワールドポーターズ6階会議室③
- ・設立3周年記念ワインパーティー
- ・会費: 2000円
- ・試飲/試食ご協力;
伏見ワイン、アムフルス(ドイツパン)
ビーンズ(ソーセージ) 即売あり



■11月例会:

- ・日時: 11月16日(土) 午後3:00~5:30
- ・会場: ワールドポーターズ6階会議室①+②
- ・講演会; (講演は日本語)
講師 ブッヘンベルガー神奈川大学准教授
「アニメ文化の日欧比較」

- ・会費: 1000円

■クリスマス・忘年会:



*日時: 12月7日(土)

13:00~受付(寒い季節ですが店の中で待てます)

13:30 開宴 ~ 15:30 終了

*会場: イタリアン PAPA DAVIDE(パパダビデ)

中区山下町37-8 ゲーリックワー 1F(TEL)045-650-7080

*会費: 会員・家族 5,000円、学生 2,500円(予定)

*ホームページご参照ください(地図、店の写真が有ります)

*余興のサプライズの為に今年もご自宅で眠っているお品をご無理なく寄附頂ければ幸いです。

編集後記

多くの皆様のご協力を得て初めて広告掲載が実現しました。従来以上に読者の皆様の為の紙面作りを心掛ける所存です。(大久保)

今回は、6ページの設立3周年記念号となりました。皆様の良い思い出になれば幸いです。(山口)

横浜日独協会会報

発行 2013. 10. 1 (第17号)

事務局: 〒223-0058 横浜市港北区新吉田東2-2-1-913

能登 崇 方

Tel & Fax: 045-546-0801, e-Mail: tak_noto@yahoo.co.jp

会報編集責任者 大久保 明 編集委員 山口 利由子

e-Mail a-okubo1926@ttmy.ne.jp

横浜日独協会ホームページ

URL: <http://idgv.sub.jp/index.html>

祝 横浜日独協会設立三周年

| | | | | | | | | | | | |
|------------|-------|---------------------------|---|------------------------|-------|---------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 世界へ、そして未来へ | 神奈川大学 | 自然派 ソーセージ フアクトリー 横浜 | ドイツ銘醸ワインをはじめ 世界ワインの品揃え ワインブティック大見 | 製パンマイスターが作る 本格ドイツパン | アムフルス | 株式会社 コトブキ 人と人をつなぐ、コトブキ | おもてなしの心をすべての人に モトスミ・ブレイメン通り 商店街振興組合 | t v k はデジタル3チャンネル 株式会社テレビ神奈川 | 「設立3周年 おめでとうございます」 フェリス女学院大学 | 設立百二十五周年 横浜生まれのドイツ商社 ウインクレル株式会社 | あなたの原稿を本にします 株式会社 文芸社 代表取締役 瓜谷 綱延 |
|------------|-------|---------------------------|---|------------------------|-------|---------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|---|